

鳥取県立鳥取看護専門学校 授業評価の結果【講義・演習・臨地実習】

(令和3年10月)

当校では、教育の質的向上を図るため、「授業評価」を行っています。

授業評価は、専任教員が実施した授業(講義・演習)について、学生からのアンケートを基に、授業の進め方、教材作成の改善など、教育の質的向上に活かしています。

また、臨地実習評価の結果については、実習施設との実習指導者会議等において、意見交換を行い、より良い実習となるよう努力しているところです。

教育課程

学科名	定員	修業年限	教育時間数(学則時間数)	
看護学科	40名	3年間	講義・演習	1,980時間
			実習	1,035時間
			合計	3,015時間

授業評価の実施状況

専任教員が実施した講義・演習及び臨地実習の学生アンケート評価を掲載しています。

【評価項目及び評価尺度】

項目	授業評価(20項目)	実習評価(28項目)
評価項目	① 学生自身の授業への取組み姿勢 ② 教員の授業の進め方 ③ 授業の内容 ④ 総合評価 ⑤ 自由記載	① 学生自身の実習への取組み姿勢 ② 実習内容・方法 ③ 教員の関わり ④ 実習指導者の関わり ⑤ 学習環境 ⑥ 総合評価 ⑦ 自由記載
評価尺度 (5段階)	5:とてもそう思う 4:そう思う 3:どちらともいえない 2:そう思わない 1:全くそう思わない	

今後の方針

令和2年度授業評価及び演習評価の結果を分析し、令和3年度は、下記のとおり取組むこととしました。また、実習評価は、各実習施設との実習指導者会議等で、対策を検討しています。

授業評価	演習評価
<ul style="list-style-type: none">* 教務会の有効活用 教員間で、学生情報、参考書や教材、教授方法等の情報交換を活発化する。* コロナウイルス感染症予防対策に応じた授業方法の選択 授業方法や環境に制約があっても、科目のねらいや目標が達成できるように、ICTを活用し、授業方法を工夫する。* 第5次カリキュラム改正 より充実した授業が提供できるよう、カリキュラムの運用を実施する。	<ul style="list-style-type: none">* 演習指導教員への事前説明を徹底 指導ポイントを押さえた教員向けのデモンストレーションを実施する。 教務会で、演習指導教員用の技術手順書を基に内容の共通理解を図り、技術指導を実施する。* 演習後、教員間の指導のリフレクションを実施し、よりよい演習の指導方法を共有し、学生に還元する。* 演習時のコロナウイルス感染症予防対策の徹底 感染予防対策を徹底した演習の実施について検討する。モデルの使用や、視聴覚教材の活用で技術が理解しやすいよう工夫する。

令和2年度学生による授業評価の結果 【講義】

		授業時間数(時間)	654
		回収率(%)	99.3
I 自身の授業への取り組み	1	この授業には興味を持っていた。	4.1
	2	この授業には積極的に参加した。(質問をする、ノートをとる、教員の発問に答える等)	4.4
	3	この授業には集中していた。(私語や居眠りをしない)	4.4
	4	課題の取り組みはきちんとできた。	4.6
	5	グループワークは効果的に遂行できた。	4.5
II 教員の授業の進め方	6	この授業は、時間・内容の配分がよく、授業の構成がよかった。	4.4
	7	教員の説明は、具体的でわかりやすかった。	4.4
	8	教員の声は、聞き取りやすかった。	4.5
	9	教員は、学生の理解度を確認しながら授業を進めていた。	4.4
	10	教員は、学生が質問しやすい雰囲気でも丁寧であった。	4.4
	11	使用した教材教具は、授業の理解に役立った。 (板書、プリント、VTR、OHP、パワーポイント等)	4.5
	12	配布資料は十分活用された。	4.5
	13	授業中の疑問は解決できた。	4.4
	14	好奇心を刺激する授業であった。	4.4
	15	板書の字の大きさは見やすかった。	4.5
III 授業の内容	16	授業の方法論は適切であった。	4.5
	17	授業内容は理解できた。	4.5
	18	この授業で新しい知識を得ることができた。	4.6
IV 総合	19	この授業は、興味・関心が深まる内容だった。	4.5
	20	全体として、この授業を受けてよかった。	4.6

令和2年度学生による授業評価の結果【演習】

授業時間数(時間)			78
回収率(%)			99.5
I あなた自身の 演習の取り組み	1	この演習には積極的に取り組んだ (事前準備をきちんとした、集中した、問題意識を持って臨んだなど)	4.6
	2	役割意識をもって演習に取り組んだ(看護師役、患者役、観察者役)	4.7
	3	学生間で検討しながら演習を進めることができた	4.7
II 演習内容・方法	4	講義で学んだ知識と演習の内容につながりがあり、わかりやすかった	4.6
	5	演習の学習目標は明確だった	4.6
	6	演習全体の時間配分は、早すぎず遅すぎずちょうどよかった	4.5
	7	演習の進め方は、順序よく整理されわかりやすかった	4.5
	8	使用した教材・教具(板書、ビデオ、パワーポイント、資料、器材、模型などは適切であった)	4.6
	9	教員間の指導の方向性が一致していた	4.2
III 教員の デモンストレーション	10	デモンストレーションはポイントがわかりやすかった	4.5
	11	デモンストレーションの速さはちょうどよかった	4.4
	12	デモンストレーションの時、教員の動作はよく見えた	4.4
IV グループ指導教員 の関わり	13	教員から、必要時適切な助言・指導が得られた	4.6
	14	教員は、学生が理解しやすい言葉や方法で指導してくれた	4.6
	15	教員は、学生の主体性を尊重した関わりをしてくれた	4.6
	16	教員は、演習全体を振り返り、わかりやすくまとめをしてくれた	4.6
V 総合評価	17	全体としてこの演習をうけてよかった	4.6

令和2年学生による授業評価の結果【臨地実習】

評価科目		基礎 看護 学実 習 I	基礎 看護 学実 習 II	成人 看護 学実 習 I	成人 看護 学実 習 II	成人 看護 学実 習 III	老年 看護 学実 習 II	小児 看護 学実 習	母性 看護 学実 習	精神 看護 学実 習	在宅 看護 論実 習	統合 実習
実習時間数(時間)		45	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
学年		1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3
回収率(%)		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
1	学内のオリエンテーションの内容は、実習を行うために役立った	4.5	4.0	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	4.6	4.0	4.0	4.0
2	受け持ち患者に対して、計画・実施・評価の一連の流れにそった実習を行うことができた	4.4	3.9	3.8	4.0	4.2	4.0	3.9	4.5	4.2	4.1	4.0
3	今までの学習内容を活用しながら実習を展開した	4.5	4.1	4.0	4.1	4.1	4.0	4	4.6	4.1	4.0	4.0
4	患者への理解を深め、個性性を考えながら実習を展開した	4.6	4.3	4.0	4.2	4.3	4.3	4.1	4.4	4.3	4.1	4.0
5	日々の学習をふりかえりながら、それを生かして実習を展開できた	4.6	4.0	4.0	4.3	4.5	4.3	4.2	4.4	4.3	4.0	4.1
6	カンファレンスにより、実践した内容を意味づけることができた	4.4	4.1	3.9	4.2	4.4	4.1	4.1	4.6	4.3	4.1	4.2
7	患者とのコミュニケーションを深めながら実習を展開した	4.6	4.7	4.2	3.9	4.2	4.3	4	4.3	4.5	3.8	4.2
8	患者との関係を築きながら実習を展開した	4.6	4.6	4.2	4.0	4.3	4.3	4.1	4.2	4.2	3.9	4.2
9	教員は、学生の必要に応じてアドバイス・指導・説明などを行った	4.7	4.5	4.2	4.1	4.4	4.2	4.4	4.7	4.0	4.2	4.1
10	教員は学生の意見を認めた上でアドバイス・指導・説明などを行った	4.7	4.4	4.2	4.1	4.4	4.2	4.2	4.8	4.0	4.3	4.1
11	教員の説明は具体的でわかりやすかった	4.7	4.3	4.2	4.0	4.3	4.2	4.3	4.8	4.0	4.3	4.1
12	教員は学生が困っているときに助けてくれた	4.7	4.5	4.2	4.2	4.3	4.7	4.3	4.8	4.0	4.2	4.1
13	教員はどの学生にも平等に接していた	4.7	4.4	4.3	4.2	4.4	4.8	4.4	4.8	4.0	4.5	4.3
14	必要に応じて教員に質問することができた	4.8	4.7	4.3	4.2	4.3	4.7	4.4	4.8	4.0	4.3	4.2
15	教員は学生の質問に分かりやすく答えていた。	4.7	4.4	4.2	4.1	4.3	4.5	4.5	4.8	4.0	4.2	4.1
16	教員は学生が自分の考えに基づいて行動することを尊重していた	4.7	4.4	4.3	4.2	4.3	4.6	4.3	4.8	4.0	4.4	4.3
17	教員と学生間のコミュニケーションはよかった	4.7	4.5	4.2	4.2	4.3	4.7	4.4	4.8	4.0	4.5	4.3
18	教員は、学生がスタッフとうまくかわれるように配慮していた	4.8	4.4	4.2	4.3	4.4	4.6	4.3	4.8	4.0	4.4	4.3
19	看護師は学生の必要に応じてアドバイス・指導・説明などを行った	4.6	4.3	4.4	4.3	4.4	4.8	4.3	4.8	4.3	4.6	4.4
20	看護師は学生の意見を認めた上でアドバイス・指導・説明などを行った	4.5	4.1	4.2	4.2	4.4	4.8	4.2	4.8	4.4	4.6	4.4
21	看護師の説明は、具体的で分かりやすかった	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.1	4.8	4.3	4.6	4.3
22	看護師は学生が困っているときに助けてくれた	4.3	4.0	4.3	4.2	4.3	4.8	4	4.8	4.4	4.6	4.3
23	看護師はどの学生にも平等に接していた	4.7	4.1	4.3	4.2	4.3	4.8	4.2	4.8	4.3	4.6	4.2
24	必要に応じて看護師に質問することができた	4.4	4.2	4.3	4.1	4.3	4.3	4	4.7	4.4	4.6	4.3
25	看護師は、学生の質問にわかりやすく答えていた	4.6	4.2	4.5	4.4	4.4	4.8	4.2	4.8	4.3	4.7	4.3
26	看護師は、学生が自分の考えに基づいて行動することを尊重していた	4.5	4.1	4.3	4.2	4.3	4.6	4.1	4.8	4.2	4.5	4.3
27	看護師の患者に対する態度から学ぶ機会が多い実習だった	4.6	4.2	4.4	4.4	4.5	4.2	4.4	4.8	4.3	4.7	4.4
28	看護師と学生間のコミュニケーションはよかった	4.2	3.8	4.2	4.2	4.3	4.3	4	4.8	4.3	4.5	4.2
29	看護師は学生が患者とうまくかわれるように配慮していた	4.4	4.1	4.3	4.2	4.2	4.6	4.1	4.9	4.4	4.6	4.3
30	教員と看護師の連携がよくとれていた	4.6	4.0	4.1	4.2	4.2	4.5	4.1	4.8	4.0	4.3	4.1
31	教員と看護師の指導の間に一貫性があった	4.6	3.9	3.9	4.2	4.3	4.7	4.1	4.8	4.0	4.3	4.2
平均		4.6	4.2	4.2	4.2	4.3	4.5	4.2	4.7	4.2	4.3	4.2